KEW 3125B 高圧絶縁抵抗計使用方法 ⚠

[高電圧注意]

⚠ **安全にお使いいただくためにご使用の前に、取扱説明書の「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。**

1. 絶縁抵抗測定の前に

(1) バッテリーの確認を行ってください。もし、バッテリーマークが (▭) のときは電池が消耗しているため、電池交換をしてください。
(2) 被測定回路に電荷が残っていると危険ですので、必ず電荷の確認を実施してください。
※高圧検電器で被測定回路に電荷がないことを確認してください。
(3) 高圧絶縁手袋を着用してください。
(4) レンジスイッチが **OFF** の位置にあることを確認し、測定コードを本体に接続してください。

2. 電圧測定 (600V 以下) について

本器では対地電圧 600V 以下の電圧測定が可能です。
※高電圧の電圧測定は出来ませんので注意してください。
※線間電圧が 600V 以下でも対地電圧が 600V より高いときは測定しないでください。
(1) レンジスイッチを "V AC/DC" に設定します。
(2) 測定コードを被測定回路に接続し電圧の測定を行います。
この際、測定ボタン (図 1) を押す必要はありません。
(3) 本器は交流・直流を自動判別し、交流・直流の電圧が測定可能です。

(図 1)

3. 絶縁抵抗測定

3-1. 測定

DAR/PI DISP
(図 2)

(1) レンジスイッチを任意のレンジに設定します。
(2) 測定コードを被測定回路に接続します。
(3) 測定ボタン (図 1) を押し測定します。測定電圧は電圧モニターで確認できます。
(4) 測定終了後は、測定コードを接続した状態で電圧モニターが 0V になることを確認してください。オートディスチャージ機能により被測定回路に充電させた電荷を放電させることができます。

3-2. DAR/PI 測定機能

(1) 絶縁測定レンジにて、測定開始から一定時間が経過すると、自動的に DAR 値 / PI 値が表示されます。
(2) DAR 値と PI 値の表示は **DISP** ボタン (図 2) を押すと切り替わります。

DAR : 誘電吸収比 (Dielectric Absorption Ratio)	**DAR = 測定 1 分後の絶縁抵抗 / 測定 15 秒後の絶縁抵抗 ※1**
PI : 成極指数 (Polarization Index)	**PI = 測定 10 分後の絶縁抵抗 / 測定 1 分後の絶縁抵抗**

※1: 15 秒もしくは 30 秒の選択が可能

3-3. 連続測定

連続測定をするときは、測定ボタンを押しながら矢印の方向へ回します。(図 1)
スイッチをロックすると、高電圧が常時発生しますので、特に注意してください。

定格測定電圧	250V	500V	1000V	2500V	5000V	
測定範囲及び確度	0.0-100.0MΩ	0.0-99.9MΩ 80-1000MΩ	0.0-99.9MΩ 80-999MΩ 0.80-2.00GΩ	0.0-99.9MΩ 80-999MΩ 0.80-9.99GΩ 8.0-100.0GΩ	0.0-99.9MΩ 80-999MΩ 0.80-9.99GΩ 8.0-99.9GΩ	80-1000GΩ
	±5 % rdg ± 3 dgt					±20 % rdg
表示範囲	0.0-105.0MΩ	0.0-1050MΩ	0.0M-2.10GΩ	0.0M-105.0GΩ	0.0M-1200GΩ	
使用電池	単 2 形アルカリ乾電池 LR14,C (1.5V) 8 本					